

ヒアリ・アカカミアリ

ヒアリとは？

ヒアリ (*Solenopsis invicta*)

【特定外来生物】

原産地：南米

国際的に最も深刻な影響を及ぼす外来生物として、世界の侵略的外来生物ワースト100にも選定されています。

1930年代：米国アラバマ州で確認。

1960年代：テキサス州やフロリダ州に分布が拡大。

1980年代：中米の大西洋諸国にも侵入。

2000年以降：オーストラリア、ニュージーランド、中国、台湾、マレーシアなど世界中に分布が拡大。

■生息場所

開けた場所を好み、草地や公園、アスファルトの隙間、芝生などで見つかります。人間が活動する場所や都市圏とも重複します。

土で直径 25～60cm、高さ15～50cmのドーム状のアリ塚を作ります。巣には約20万～40万頭の働きアリが生息しています。また、女王アリは1頭の場合と複数の場合があります。

★モニタリング調査

兵庫県でヒアリの侵入があったことを受けて、2017年7月から県内の海外航路がある港湾において、バイトラップ(誘引餌を用いたわな)を使用して侵入確認調査を実施しています。



港湾でのトラップ設置



実体顕微鏡での確認作業

★ヒアリと間違いやすい在来種

アリは小さな昆虫なので、在来種のアリがヒアリと間違われてしまう事例が多くあります。ヒアリは港湾のコンテナからの発見が殆どで、市街地や公園等での定着は確認されていません。

【生物多様性センターに、ヒアリ疑い種として持ち込まれた主なアリ等】



▲アリゲモの仲間



▲キイロシリアゲアリ(女王アリ)



▲オオズアリの仲間



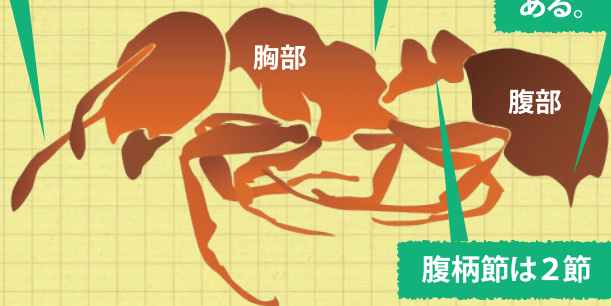
▲アミメアリの仲間

ヒアリの外観的特徴

触覚は10節で、先端のこん棒部分は2節

胸部後端にトゲが無い。

尾部に針が見えることもある。



- 体長：約2mmから6mmのバラバラの大きさの個体が混在します。
- 体色：赤茶色で在来種にはないツヤがあります。
- 腹部：やや濃い茶色で黒味がかかります。
- 尾部：毒針があり、刺激を与えると積極的に刺します。非常に強いアルカロイド系の毒を持ち、体質によってはアレルギー反応が起こることがあります。



▲ヒアリ(働きアリ) 採集場所：アメリカ



▲ヒアリ(女王アリ) 採集場所：アメリカ



採集場所：アメリカ

ヒアリとアカカミアリとの違い

アカカミアリは、働きアリの一部に頭部が肥大した個体が混じることが特徴ですが、その他の外見的特徴はよく似ており、専門家による同定作業が必要になります。

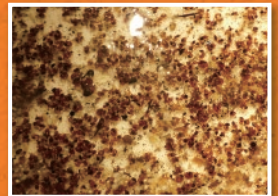
アカカミアリの侵入確認

2017年に四国中央市で約400頭、2018年に新居浜市で1頭が確認されたアカカミアリが、2020年7月に松山港と新居浜市内物流ターミナルにおいて、計6,000頭(新居浜市は複数の女王アリ含む)確認されました。

本種の定着を水際で防止する為に、生物多様性センターでは関係機関と連携してモニタリングを実施しています。アカカミアリはコンテナ集積場所やコンテナ内部といった人の往来が限定される閉鎖的な環境で確認されています。モニタリング調査の結果から、現時点では周囲への拡散の可能性は低いと考えられます。



▲アカカミアリ(働きアリ)



▲サンプリングしたアカカミアリ(2020年新居浜市)